

# 昭和村 議会だより



No. 183

令和 7 年 11 月 19 日 発行



## 昭和小学校 1・2 年生 サツマイモ収穫より

### Contents

- 令和 6 年度決算認定 … 2 ～ 4
- 議案審議の内容 …… 5 ～ 6
- 村政を問う …… 7 ～ 13
- 議会活動の報告・お知らせ  
…………… 14

発行／昭和村議会

編集／議会だより編集委員会

〒968-0103

福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島652

☎0241-57-2198 FAX0241-57-3044



# 令和6年度の決算認定

9月定例会では、令和6年度の一般会計をはじめとする全ての会計の決算内容と、事業の成果が提出され、審議の結果、賛成多数で認定されました。（決算の内容は「広報しょうわ10月号」に掲載されていますのでご覧ください。）

村の財政状況を示す「健全化判断比率」も報告されましたが、村は健全財政を継続していることが確認できました。

しかし、村は収入の多くを国からの地方交付税に依存していますが、その交付額は不透明さが大きく、今後財政状況はますます厳しくなっていくことが想定されます。さらに村税の滞納額が年々増加していることから、早急な対応に取り組むことを求めました。

昭 和 村 の 財 政 状 況	区 分	財政指数	簡 単 な 解 説
	財 政 力 指 数	0.09	地方交付税への依存の程度を示します。 「1」に近いほど財政力が強いということです。昭和村は村税の収入が非常に少なく、 <u>財政力はとても弱い</u> といえます。
	経 常 収 支 比 率	98.4	独自の施策や新たな施策に対応する余力があるかどうかという財政の弾力性を示します。 75%程度が妥当といわれてきましたが、地方財政を取り巻く状況が変化中、どの自治体も高止まりしています。昭和村も <u>90%を超え引き続き高い水準にはある</u> といえます。
	実 質 赤 字 比 率	—	一般会計の赤字額の割合を示します。黒字決算であるため該当しません。
	連結実質赤字比率	—	一般会計、特別会計（国保、介護、後期高齢）、公営企業会計（簡易水道、下水道）全部を合算した場合の赤字額の割合を示します。 全部の会計が黒字のため該当しません。
	実 質 公 債 費 比 率	8.9	収入金をどれだけ地方債（借金）の返済に充てたのかを示します。 18%以上は警戒値。35%以上は破綻。昭和村は <u>現段階では良好な状態</u> であるといえます。
	将 来 負 担 比 率	—	地方債（借金）の返済など将来負担しなければならない金額の割合を示すものです。現時点では <u>借金より基金（貯金）の額が多い</u> ため、指数は算定されませんでした。

# 決算認定

## 令和6年度 決算議案質疑の 主な内容

**問** 財政構造の弾力性を測定する経常収支比率は、前年比10・1%増加し、98・4%に上昇し、目安となる75%を超えている状況である。非常に危険な数字と考えるが、是正していく考えか。

**答** 経常収支比率は、人件費や扶助費、公債費など、経常的に使う経費を地方税や普通交付税などの一般財源などに占める割合をいい、この割合が高くなれば、財政構造が硬直化しているという目安として判断できる。

役場庁舎、教育関

連施設の整備計画など今後の大規模なプロジェクトも考えらる  
と、今から財政健全化、経常収支比率をどう下げていくかということは、喫緊の課題と捉えている

**問** 寄附金は、善意の寄付か、また寄付者の意思をどの様に反映しているのか。

**答** 一般寄附金と、ふるさと納税などがあり、一般寄附金は、その用途について、寄附をされた方の希望する分野の予算に充当している。ふるさと納税も、納税者の希望する分野の予算に充当している。

**問** からむし織販路開拓情報発信事業委託料の業務内容は、

**答** Culture Generation Japan（カルチャージェネレーションジャパン）という会社  
にニーズ調査で、海外向けのホームページ、動画の作成、台湾等に向けたデジタルマーケティングを実施した。

また、からむし織魅力発信イベント情報発信業務を振興公社に委託し、からむし織のPRイベントを、3会場、東京、京都、沖縄宮古島において実施し、からむし織の魅力発信と情報発信を行った。

**問** 昭和村特産物商品化支援事業補助金と、昭和村地域農業再生協議会補助金の活動内容の用途は、

**答** 2業者に、商品パッケージ、販促宣伝

資材の開発で、トンネルようかんの個別パッケージ、のほり旗、米粉パンの開発に補助金を交付した。

昭和村地域農業再生協議会補助金は、水田活用交付金事務に対する補助金である。

**問** 移住定住住宅の修繕設計委託料の場所と軒数は、

**答** 移住定住促進空き家活用事業、住宅改修設計業務委託料は、小野川大岐地区の1軒である。

**問** 介護給付費及び訓練等給付費の利用者の数の推移と内容は、

**答** 障害者の方に向けたサービス事業であり、介護給付費は、主に重度障害者の方

の日常生活支援、移動支援が含まれており、訓練等給付費は、生活訓練、就労支援などを通じた自立支援を目的としている。

本村では、居宅介護（家事援助）が1名、知的障害者の施設支援が3名、就労継続支援Bが3名、共同生活援助（グループホーム）が3名となっている。



移住定住促進空き屋活用事業により改修された住宅  
（小野川大岐地区）

# 決算認定討論

## 令和6年度決算 認定討論の要旨

### 反対討論

経常収支比率が10・1ポイント悪化している。これは75%を超えて98・4%というのは危険水域に入っていると感じている。

W i i F iのアンテナ、終わりましたけれども、これは無用の長物になっていいるのではないかと。使っている人を聞いたことがない。タブレットのリース、金額は僅かだが、300のうち40台しか稼働していないということは、無駄遣いだと思う。

決算の会議であるが、この1年間を考えてみると、不祥事が多発した。

一般質問で質問したように、不納欠損処理をすることはいいが、責任を感じることなく不納欠損を処理すると

いうのは、おかしいと思う。

私が住む野尻集落の5年先、今の状態で進んでいくことを前提に考えてみると、先端過疎を唱えながら、もう過疎の先端を行っているとされる。私はこの決算、すんなり認定はできない。

### 賛成討論

本決算は、令和6年度昭和村一般会計歳入総額25億5,953万円の前年度比3・1%減、8,301万円の減額。歳出総額24億1,093万円の前年度比1・0%減の2,489万円の減額と示された。

令和6年度の決算を見る限り、歳入が減少する中でも目的基金を効果的に活用し、最小限に抑えながら運営を行っていると思われる。しかし、経常収支比率98・4%というのはかなり高い水準で、こ

れは昭和村の財政において、人件費、扶助費、公債費などの経常的支出が経常的収入のほとんどを占めていることを意味している。

財政健全化の観点から注意が必要であるが、歳出においても、財政の健全性を保ちつつ、住民サービスの質を維持しようとしている姿勢が見てとれる。ただし、今後の財政運営には慎重さが求められると思う。

小規模自治体である昭和村にとって、限られた人員と予算の中でこれだけの成果を出すのは簡単なことではない。もちろん課題はあるが、それに真面目に向き合っている姿勢は、村民の暮らしを守るために誠実な努力だと感じる。

今後とも透明性と効率性を重視した村政運営を期待し、決算認定に賛成する。

### 賛成討論

村が公表した令和6年度の各部門における施策の効果について調査した。

本村の自主財源は毎年4%台であるが、この様な中において、前年度決算額と比較し18・5%増は努力が伺える。

また、各部門における施策については、中長期的視点に立ち村民が必要としている事業に取り組んでいるものと理解する。

しかしながら、依存財源で支えられている本村において、事務的経費、特にベースアップに伴う人件費の増加、また、投資的経費として教員宿舍新築工事や豪雪に伴う除雪経費、さらに老朽化施設に伴う維持、修繕費などの増加により、特別会計の繰出金の増加となり、結果的に経常収支比率が前年度比10%増となった。このこと

は、監査委員の報告にもあるように、経常収支比率98・4%に上昇した要因は、平成25年度からの大規模な事業の起債の影響大としており、償還満了もあるが、今後も同水準で推移するとしており、令和7年度はさらに人件費が増額することは確実であり、財政運営を取り巻く環境は極めて厳しい状況と言える。

今後、新庁舎の建設計画や教育関連施設の建設計画がある中で、さらに健全財政の重要性が増しており、この様な現状において、職員が一体となり、創意工夫し、各課横断的に連携し、国や県からの情報収集に努め、補助事業の活用を図り、最大限の運用を図った予算執行がなされていると判断し、令和6年度歳入歳出決算に賛成する。



# 議案の審議

9月議会定例会  
で可決された、議  
案の内容をお知ら  
せします。  
※議決結果はP6  
をご覧ください。

## 条例改正

昭和村税条例の一部を  
改正する条例

地方税法及び地方税  
法等の一部を改正する  
法律の施行に伴い、所  
要の改正を行う。

昭和村税特別措置条例  
の一部を改正する条例

地域未来投資促進法  
の一部改正に伴い、地  
域経済牽引事業の促進  
区域内において、特定  
事業用機械等取得し  
た場合の特別償却又は  
税額控除制度について、  
要件等の見直し及び適  
用期限が延長されたこ  
とに伴う所要の改正。

昭和村個人情報番号の利用  
及び特定個人情報情報の提  
供に関する条例の一部  
を改正する条例

地方公共団体の基幹  
業務システムの統一・  
標準化等に伴う所要の  
改正。

昭和村議会議員及び昭  
和村長の選挙における  
選挙運動の公費負担に  
関する条例の一部を改  
正する条例

国会議員の選挙等の  
執行経費の基準に関す  
る法律の一部を改正す  
る法律の施行に伴う所  
要の改正。

昭和村職員の勤務時間、  
休暇等に関する条例の  
一部を改正する条例

育児休業、介護休業  
等育児又は家族介護を  
行う労働者の福祉に関  
する法律の一部を改正  
する法律の施行に伴う  
所要の改正。

職員の育児休業等に関  
する条例の一部を改正  
する条例

地方公務員の育児休  
業等に関する法律の一  
部を改正する法律の施  
行に伴う所要の改正。

## 補正予算

令和7年度昭和村一般  
会計補正予算(第3号)

主な補正内容

歳入 地方交付税確定  
による増額補正。普通  
交付税及び繰越金の確  
定に伴う基金等繰入金  
の減額補正。  
歳出 NHK放送未契  
約車両受信料、物価高  
騰対応重点支援地方創  
生臨時交付金を活用し  
た、子育て世帯の支援  
及び定額減税補足給付  
不足分、高齢者外出支  
援事業、すみれ荘電気  
温水器及び風呂場床修  
繕、保育所の未満児入  
所者増対応、橋梁補修  
工事材料単価高騰対応、  
村道喰丸下日影線現地

測量設計業務委託など  
の増額補正。前年度繰  
越金の確定に伴う国民  
健康保険費及び介護保  
険費、教員宿舍外構工  
事設計金額確定に伴う  
減額補正など。

令和7年度昭和村国民  
健康保険特別会計補正  
予算(第2号)

事業勘定 国民健康保  
険税の賦課額及び繰越  
金確定に伴う増額補正。  
施設勘定 繰越金確定  
に伴う増額補正。

令和7年度昭和村介護  
保険特別会計補正予算  
(第1号)

保険料の賦課額、介  
護給付費の精算及び繰  
越金確定に伴う増額補  
正。

令和7年度昭和村後期  
高齢者医療特別会計補  
正予算(第1号)

後期高齢者医療保険  
料の賦課額及び繰越金  
確定に伴う減額補正。

## 人事

昭和村教育委員の任命  
に同意

いがらし まゆこ  
五十嵐 麻裕子  
(両原・再任)

昭和村固定資産評価審  
査委員会委員の選任に  
同意

栗城 金一  
(中向・新任)

## お詫びと訂正

前号(昭和村議  
会だより182号)  
の掲載に一部誤り  
がありましたので、  
お詫びして訂正い  
たします。  
前号6ページ一般  
質問  
「村の施設利用料  
の不適切な管理に  
ついて」の答弁者  
が「教育長」とな  
っておりましたが、  
「副村長」に訂正  
いたします。

# 議案の審議

9月定例会で審議した議案と、その議決結果です。（審議した順に掲載。）

議 案 名	議決 結果	菅家 篤男	羽染 豪	小林 政一	渡部 節雄	馬場 政之	栗城 敏郎	馬場 栄三	栗城 徳雄
昭和村税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
昭和村税特別措置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
昭和村個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
昭和村議会議員及び昭和村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
昭和村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
職員の育児休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
令和7年度昭和村一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
令和7年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
令和7年度昭和村介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
令和7年度昭和村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
令和6年度昭和村歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	×	○	○	○	議長
昭和村教育委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	議長
昭和村固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	議長
健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長採決以外は「議長」と表記。

## 表紙の写真について

9月24日に昭和小学校1・2年生が生活科の時間に育ててきたサツマイモの収穫の様子です。昭和小学校では、全校生徒で田植え、稲刈りの体験にも取り組んでいます。

# 村政を問う

## 令和7年9月定例会 一般質問

馬場 栄三 議員



**Q 熱中症対策、職場環境改善を図れについて伺う**

**問** 各地区の集会場にエアコンの設置が必要と考える。

**村長** 選挙の投票所や災害発生時の避難所、役場の各種事業で使用し、また住民が日常的に使用する集会所については、冷房設備の設置は必要と考えている。昭和村集会施設整備費等補助金制度を設けており、未設置地区には活用を検討頂きたい。

**問** 来年度予算が、年度内か伺う。

**総務課長** 冷房設備のための予算計上は、来年度の当初予算に反映することになると考えている。

**問** 野尻コミセン2階での、からむしのお引き作業、一時的か、永続的か。

**産業建設課長** 今年度、

暑さ対策として、会場を野尻コミュニティセンター12階に移し、スポットクーラー3台と業務用扇風機3台を設置した。作業に当たる方の健康に配慮する必要があることから、スポットクーラーの設置台数の増加や会場の変更など、次年度の実施に向け、保存協会とともに検討していきたい。

**問** 野尻コミセンの2階を使用予定であれば、水道とトイレの修繕及びエアコンの設置が必要と考える。

**産業建設課長** 来年度以降の実施場所は、保存協会と検討したい。修繕の対応は、使用目的や頻度を考慮し、優先順位を定め修繕や整備をする必要があるため、現状では難しい。

**問** 教職員住宅にエアコン未設置の場所、エアコンの設置が必要と考える。

**教育長** 昭和村教員宿舎は13施設あり、うち

7施設には、エアコンは設置していない。7施設のうち5つの施設は、目標とする使用年数を超え、老朽化も進んでおり、将来は廃止して解体する計画もある。公費での設備の設置は行う予定はない。ほかの2施設についても、既に入居者自身で設置していることから、公費での設置を行う予定はない。

**問** 廃止までの間、寝室、居間など、設置の考えはないか。

**教育次長** 昭和村教員宿舎は、入居者の負担において設置することが可能な取扱いになっており、入居者が設置することは問題ない。

**Q 国道401号大芦新鳥居峠工区について伺う**

**問** 国道401号博士トンネルバイパス化と大芦地区から新鳥居峠まで改良工事について

て、いつ、どのような説明がされたのか。

**村長** 国道401号博士峠工区は、平成26年10月、平成28年2月に道路計画について説明があった。

大芦工区は、平成25年8月、平成28年2月に道路計画、同年11月に用地買収の進め方について説明が行われ、令和4年11月、工事の進捗状況について、大芦地区から新鳥居峠までの改良工事について、今年6月18日に会津若松建設事務所から、今後の取組状況について説明を受けた。大芦工区は軟弱地盤改良及び補強土壁施工の予算要望、見沢川から終点までは用地交渉の継続、新鳥居峠工区は、計画ルート上の用地境界の確定に必要な調査、測量を進めている。新鳥居峠の整備は、改良整備事業着手を要望している。

**問** 具体的な年度計画の説明は。

**村長** 当該年度の事業内容の説明があった。事業計画は示されていない。

**問** 新鳥居峠工事、復興予算の適用は。

**村長** 東日本大震災復興予算は充当されないとの回答であった。

**問** 大芦地区の軟弱地盤など問題事項、県の取り組みは。

**村長** 大芦工区の現場の課題改善に向け、時期や施工方法などを検討していると伺っている。

**問** 用地境界の問題、地権者同意が得られていない点は。

**産業建設課長** 課題解決に向け働きかけをしていると伺っている。

# 村政を問う

## 令和7年9月定例会 一般質問

菅家 篤男 議員



**Q** 水道水における  
ピーファス・有  
機フッ素化合物  
について

**図** 村では、水道水や  
地下水の検査をしてい  
ると思う。検査状況と  
検査結果について伺う。

**産業建設課長** 村の簡  
易水道水質検査の項目  
にピーファス及びピー  
フォアは、令和6年度  
より年に1回検査を行  
っており、今年度は7  
月に実施した。

測定は、松山、野尻、  
大芦、上昭和・両原、  
小野川地区の計5か所  
で、全てが5ナノグラ  
ム未満であり、国の暫  
定目標値である50ナノ  
グラムに達しておらず、  
安全性に問題はない。  
地下水は、村で検査  
は行っていない。

**図** 下水処理場の下水  
汚泥は、どのように処  
理されているのか。処  
理方法と安全について  
伺う。

**産業建設課長** 村の汚  
泥処理は、専門業者が  
回収し、会津環境セン  
ターに搬入後焼却処理  
されており、安全性に  
問題ない。

**Q** 空き家住宅改修  
援助金事業の拡  
大について

**図** 10年以上空き家と  
なっていた実家に暮ら  
したいと戻ってきたご  
夫婦がいる。Uター  
ン者に、移住・定住者支  
援制度を該当すべきと  
考える。  
物件の改修、修繕を  
行う所有者として援助  
金事業の対象者に認定  
できるように改正して  
いただきたい。

**産業建設課長** 昭和村  
ふるさと定住化促進条  
例に規定する空き家住  
宅改修援助金に関する  
交付要綱に、支給対象  
条件は、空き家情報登  
録制度、空き家バンク  
への登録を必要とする  
と明記されている。

提案の拡充について、  
Uターンによる実家の  
改修は、昭和村ふるさ  
と定住化促進条例の定  
住要件に該当させるこ  
とはできないが、移  
住・定住しやすい仕組  
みづくりを検討してい  
く。

**図** 10年以上空き家に  
なっていた物件に村外  
から戻られた方には、  
改修、修繕補助をす  
る。ただし10年以上は  
住み続けることを条件  
にし、新しい制度を整  
備すべきと考える。

**村長** 人口減少対策は  
喫緊の課題となってい  
る。Uターン者を積極

的に受け入れる姿勢は  
大変大事だと思うので、  
今後、移住・定住しや  
すい仕組みづくりにつ  
いて、検討を進めたい。

**Q** 村道改良事業  
(喰丸下日影線、  
下中津川柳原  
線)について

**図** 第6次昭和村振興  
計画に、村道下日影線  
が計画されている。集  
落の方は測量設計から  
改良工事まで少しでも  
早くできるよう望んで  
いる。来年度からの取  
組予定を伺う。

**産業建設課長** 村道喰  
丸下日影線に関する取  
組として、今年度、道  
路新設のルートや用地  
等を確定するために、  
本定例会補正予算に現  
地測量業務委託料を計  
上した。来年度からの  
取組は、測量の結果を  
説明し、地区の住民と

合意形成を図りながら、  
進めていく。

**図** 村道柳原線改良工  
事は、来年度はどのよ  
うな取組を計画されて  
いるか。

測量設計を先行実施  
する計画をしていただ  
きたい。一部ですが、  
区の利用排水路事業で取  
り組むことができるよ  
うになると考えられ  
る。村長の考えを伺う。

**産業建設課長** 村道下  
中津川柳原線に関する  
利用排水路の改修は、先  
行して利用排水路等小規  
模修繕事業を活用し、  
部分的に施工すること  
も可能と考えられる。  
道路改良工事につい  
ては、今後、第6次振  
興計画後期計画策定時  
に、優先順位等を見極  
めた上で判断していき  
たい。



# 村政を問う

令和7年9月定例会  
一般質問

羽染 豪 議員



## Q 高齢者福祉について

図 独り暮らしや免許返納される高齢者が今後、増えることが予想される。こうした村民に向けた日常生活支援や買物、通院、交流のための交通手段など、現状と、財政的に持続可能な形で今後、どのような支援を行っていくのか。

【村長】 日常生活支援の現状は、地域包括支援センター及び高齢者等見守り支援員の活動において把握した住民のニーズを、社会福祉協議会、昭和福祉会など関係機関と情報共有を図っている。高齢者に対する交通手段は、買物支援として、社会福祉協議会が買物交流バスを実施しており、歩行介助や購入品を玄関まで運ぶなど、きめ細やかな対応により、利用者から好



からむんバス(オンデマンドバス)の運行

評をいただいている。からむんバスは、高齢者割引のほか、運転免許返納者に無料クーポンを発行している。通院支援、村外医療機関へ移動支援は、会津中央病院と県立宮下病院に無料送迎バス運行をいただいている。公共交通機関の利用困難な要介護状態にある方に向けた通院、外出支援を昭和福祉会へ委託し実施している。今後も、住民ニーズに耳を傾け事業の継続や見直しを行い、持続可能な形での支援を行っていく。

## Q 子育て支援・少子化対策について

図 人口動向や子育て世帯の就労状況の変化を見据え、安定した保育提供体制の維持と柔軟な対応力のある仕組みづくりが必要と考える。質の高い保育を支える人材の確保、受入れ体制の見直しについて伺う。

【村長】 近年、共働き世帯の増加や働き方の多様化に伴い、保育ニーズはより一層複雑化している。保育所では未満児である1歳から2歳児の入所が増加しており、より丁寧な対応と安全管理が求められるため、保育士の業務負担が大きくなっている状況にある。一方で、全国的に保育士が不足しており、都市部から地方まで保育士を確保することに苦慮しており、本村も

同様の状況にある。

このような状況を踏まえつつ、これまで以上に子供を安心して預けていただける質の高い保育所とするため、令和5年度に導入した業務支援ICTサービスをさらに活用することで事務作業をより効率化し、保育士が子供と向き合う時間をしっかりと確保できるように努めていく。

また、人的体制の補完策として、子育て支援員の増員を行い、保育士の業務を補助するとともに、保育士が質の高い保育をできる環境を整備し、保護者がこれまで以上に安心して子供を預けることができるよう保育所の運営を行っていく。

【図】 物価高やエネルギー価格の上昇など、子育て世帯を取り巻く経済状況は厳しさを増している。

出生率の低下も続く

中で、安心して子供を産み育てる地域づくりには、自治体としての支援強化が必要と考える。

子育て世帯の経済的負担軽減に向けた支援、給食費補助、子育て用品の支給の新たな支援を検討する考えはあるか。

【保健福祉課長】

これまで、保育料や給食費の無償化、さらには子育て用品の支給など、子育て世帯への経済的な支援に取り組んできた。また、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、18歳までの子育て世帯に対し子供1人当たり2万円を支給する補正予算を本議会に計上している。子育て支援は、複合的に行う必要があるため、地域の方々の意見を伺いながら、新たな支援や見直しなどを検討していきたい。

# 村政を問う

## 令和7年9月定例会 一般質問

渡部 節雄 議員



### Q からむしの伊勢 神宮（奉納）の 件

問 村長は、振興公社の社長である。その立場を両方わきまえて答弁しないのは、おかしいと思う。

以前村長は、この件はからむし振興室、振興公社、保存協会の3者が協力し、連携して進めていく旨、発言している。これは村長の立場で発言している。今も、その考えに変化はないか。

村長 公社の代表取締役として答弁をという趣旨の発言であるが、これについては、地方自治法第121条により、公社代表取締役は議長から議会へ出席を求めることができないため、公社の代表取締役として答弁することはできない。

からむし振興室、今は振興係となっているが、からむし生産技術保存協会、奥会津昭和村振興公社は同じ建物の中に入っており、ワンストップ窓口で、からむしに対して連携を取りながら振興に努めていくという意味で答弁した。

### Q 多発した不祥事 の原因と責任

問 原因を究明し、それから再発防止策を練るといのが筋だと思う。行政側では、どこに原因があるとお考えか。

副村長 不祥事が発生した原因については追及しており、近年の不祥事では事務の遅延や職員の知識不足等により、不祥事が発生したと考えている。

問 村長に、しっかりと考えてもらいたい。その意味で、村長から答弁をお願いする。

村長 不祥事が起こった場合には懲戒審査委員会を設置して、副村長がその委員長になっており、詳細をよく熟知しているのは副村長であるので、副村長に答弁させた。私が答弁したとしても、今、副村長が答弁したとお

り、不祥事が発生した原因については追及をしており、近年の不祥事は事務の遅延や職員の知識不足等により、不祥事が発生したと考えている。

### Q 滞納固定資産税 の解決策は

問 昨年6月議会の全員協議会で、村長は

「滞納固定資産税の解決のめどを今年度中に立てる」と発言された。発言は、見通しを持った上でのものだったのか。それとも、材料を持たずのその場しのぎの発言だったのか。

村長 滞納処分について、不納欠損をする時期は、今年度中に行いたい方向で調整したいと考えている。

問 差押えをすることが、不納欠損をするための必要条件だということか。5月に村長から村民に対して発行された文書にも、令和7年度中に欠損処理をすると言われたが、スケジュール的に無理だ。

我々は2月には不納欠損処理ができるというところで納得したが、ここに来て話がまた違っている。2月に不納

欠損処理ができるという発言の裏づけはあったのか。

副村長 差押えしたのは、これまでの法人の滞納の時効を停止するために差押えを行ったというものである。

これから不納欠損を行うに当たり、土地、建物を差押えした現状のままであれば不納欠損はできないということとを県の税務課などから指導いただいたので、まず、その差押えを解除するための動きを今後していき、以前から申し上げているとおり、今年度中に不納欠損をしていきたいと考えている。



# 村政を問う

## 令和7年9月定例会 一般質問

馬場 政之 議員



### Q 消火器の液の詰め替え等について

**問** かつては消防団員が各家庭を巡視し、有効使用年月日を確認したり注文を受けていたが、近年実施されていない、行政で実施を考えていただきたい。消火器を備えている家庭でも、いざというときに使用方法が分からなかったり、使用期間が経過し薬剤が古くなり役に立たないことがあるかと思う。こうしたことが防火や防災の意識を高め、消火器に関心を持っていただくことになる。検討し実施されたい。

**村長** 昭和村消防団では、火災の発生を未然に防ぐため、各世帯への立入検査を毎年11月に実施し、火の用心や消火器の設置状況確認、住宅用火災警報器の定期的な点検について指導している。

昨年度の立入検査の結果報告において、実施していない班があったため、消防団の幹部会議において、本年度の立入検査では、全ての班で消火器の設置状況や使用期限の確認を指導されるよう要請したところである。

### Q 上・下水道の使用料金について

**問** 上水道、下水道料の未収の方はいるか。未払の方はいるのか。

**産業建設課長** 令和6年度決算時における上水道使用料金を滞納している者は、簡易水道使用料金が33名、下水道使用料金が28名となっている。

**問** 決算時の未納となっている金額は。

**産業建設課長** 令和6年度決算時における簡

易水道並びに下水道の滞納額の合計は74万5千765円となっており、簡易水道は42万1千177円、下水道が32万4千588円となっている。

**問** 長期間未払いの人はいるのか。

**産業建設課長** 令和6年度決算時において5年以上滞納している者は、簡易水道は12名、下水道は12名となっている。

**問** 未納になってからも期間が長い、時効を援用されたらどうするのか。

**産業建設課長** 5年以上滞納されている方の中には、分納計画書を提出していただき、少額ではあるが納めている方もいる。分納期間を短縮してもらえよう話をしながら、納めていただくことに努めている。と考えている。

### Q 河川の中の立ち木の除去について

**問** 河川の中に立ち木が増え、太くなっている。管理者は計画的な豪雨対策となるのかと思っているのか、素人から見れば流れを阻害しているように見えない。

また、美しい村育成からも決して美しいとは感じられない。川からの除木をするよう管理機関である土木事務所に申し出いただきたい。

**村長** 河川内に堆積した土砂や樹木の繁茂は、洪水時に河川の流れを阻害し、水位を上昇させるなど、災害発生の危険性を高めるとともに、河川巡視の妨げや、景観を損なうなどの課題があると認識している。

設事務所より、令和7年度から令和11年度にかけて河道掘削等の実施計画作成に伴う要望箇所の照会があり、一級河川野尻川内の両原、喰丸、佐倉、下中津川地内の河道掘削要望を提出している。

近年の豪雨災害による河川の氾濫事例が全国各地で発生しており、村民の安全・安心した生活を守るためにも、河川内の環境改善に向け、県会津若松建設事務所への要望活動を継続していく。



野尻川に繁茂する草木  
(佐倉地区)



# 村政を問う

## 令和7年9月定例会 一般質問

小林 政一 議員



### Q 県道「宮下・小 林停車場線」に ついて

図 美女峠は野尻集落、吉尾峠は中向集落が草刈作業を受け持っている。軽トラックが通れる道路もあるが、県の管理する道路は歩く県道部分だけか。

村長 県道小林会津宮下停車場線は、昭和村と三島町、昭和村と只見町の三町村を結ぶ路線で、車両通行ができない区間があり、県は歩く県道として整備し、活用方法を模索しているのと伺っている。

村道中向上ノ山1号線、村道中向上ノ山2号線、県道小林会津宮下停車場線があり、未舗装、砂利敷きの部分が多く、境界が分りにくい箇所も多いため、詳細を含めた分かりやすい図面を整備し、地区に説明会を実施するなど、対応を検討する。

図 奥会津産業道路を使用し、国有林の切り出しが行われている。

道路に県道小林会津宮下停車場線の標柱があるが、草刈り、見回りなどの管理は行われていない。また、間方方面へ橋を作る計画のため、山を削り平らにした部分は木立が成長し、熊などの住む場所になつていく。県管理と思うがどうか。

国有林切り出しによる道路の補修は誰がやるのか。

産業建設課長 会津若松建設事務所に確認したところ、平成6年頃、県の道路建設事業で実施した箇所があり、事業が中止となった現在も、県道敷きとして国から貸付を受けているため、標柱を設置しているとのことである。

県道小林会津宮下停車場線と平地化した部分も含め、管理及び今後の方針等、会津若松建設事務所と協議する。

国有林切り出しによる道路の補修は、現場作業を受託している事業者による修繕が原則であり、県に現状を伝え、補修対応を指導いただく。

### Q 村の景観の現在 と未来のあり うについて

図 古民家がある景観の経済効果、成功例は喰丸小と思う。

山口昌男氏の再学習センター、井上ひさし氏などの来村、土俵があつたことで喰丸小の現在があると思うがどうか。

村長 喰丸小学校がリメイクし存在するのは、山口昌男先生が喰丸文化再学習センターとして喰丸小を活用したことがきっかけである。

当初、喰丸小学校、大芦小学校、木造校舎が残っていたが、木造校舎を解体する方向で進んでいた折、喰丸小は山口先生の活動として使っていた。十何年続き、解体の時期になり、今度は映画「ハーメルン」の話があり、その効果もあって、今日、郷愁を誘う木造校舎の昭和12年築の喰丸小が残ったと感じている。

図 集落にある曲り屋、直屋を文化的視点で村の景観を昭和100年の記念として、かやぶき屋根で戦略的な村の景観、昭和の風景を残す考えはないか。

村長 景観とは、単に目に見える風景でなく、その土地の歴史、文化、人々の生活の様子など、五感を通して感じるもの全てを含む概念と考えており、村にお越しただき、実際に見て、触れて、学んで、村民と一緒に過ごしていただく場面を盛り込んだ観光メニューやPR方法を、観光協会、関係機関と連携を図り、喰丸小を中心に、今後も発信していく。

曲り屋は、個人所有物の家屋であり、行政が主体となり保存、活用するには多くの課題がある。特に、かやぶき屋根や曲り屋のような民家は、多くの課題がある。

かやぶき屋根は、自然素材のため非常に燃えやすく、一度火災が起きると全焼してしまう可能性がある。また、

風雨や虫の影響を受けやすく、定期的なメンテナンスやふき替えが必要になり、費用も高額になる。冬季間は雪下ろしの労力も必要のため村内で姿を見ることがなくなつた。

曲り屋は、古い建築様式のため、現代の建築基準への適合が難しく、老朽化の対応など、専門的技術と多額の費用が必要になる。

最も重要なことは、所有者及び地区住民、さらに村民全体の理解と合意形成が必要であり、財政負担の面からも慎重な対応が求められることから、現時点では、提案の施策の実現は非常に難しいものと思つている。

教育長 佐々木家住宅に関する教育委員会の考え方は、これまでのとおりである。

今年度は、保存、活用を含めた今後の在り方について専門家のアドバイスを受けるため、県立博物館へ文化財的価値について照会しており、回答を参考に、文化財保護審議会での今後の方向性について協議していきたい。

# 村政を問う

## 令和7年9月定例会 一般質問

栗城 敏郎 議員



### Q 「雑がみ」の資源化について

問 燃やせるごみとして出されている雑がみを分別すれば資源物となる。

更なるごみ減量化、資源化を図るため、紙袋に入れて出すなど、簡単な取組を推し進め、雑がみの更なる取組を提案する。

保健福祉課長

リサイクルボックスへの資源ごみ搬入など、村民の理解と協力により、令和6年度、家庭から出る燃えるごみは令和5年度から12・2トン削減できた。

雑がみは古紙類として資源物回収をしているが、燃やせるごみの中にはまだまだ雑がみが含まれているので、雑がみを含めた古紙類の出し方を分かりやすく周知していきたい。

### Q 法人の固定資産税滞納について

問 既に不納欠損処理を行ったのか、令和6年度の決算認定が確定してからか。

村長 年度内の不納欠損処理に向け準備を進めており、現時点では不納欠損処理には至っていない。

問 現時点においても土地、建物の名義変更はないのか。

村長 6月に福島地方法務局若松支局へ担当者が出向き、登記簿謄本の写しを入手し確認しているが、現在も土地及び建物の名義に変更はない。

問 登記が抜けていないことから、また新たな固定資産税の未納が発生する。新たなこの対応は。

村長 解散した法人名義の土地及び建物には、固定資産税を賦課するが、未納額については、地方税法に則り不納欠損処理を行う。

問 未納になった時点で、村独自の判断で不納欠損処理をしても問題がないのか。

村長 不納欠損処理は、地方税法に則り行うため、村独自の判断ではない。

不納欠損処理を行う場合には、事前に預貯金調査や登記簿の確認などについて実態調査を行い、状況に変化がなければ、来年、年度末の3月31日付で当該年度の分の不納欠損処理を行いたいと考えている。

問 今後、不納欠損処理をするとき、村民に周知を図るのか。

副村長 不納欠損をする際は、監査資料に添付されるので、そういう意味で村民に対し周知を行っていききたい。

問 残念ながら法人1件の滞納が発生したが、それ以外は1件の滞納者もない。単に納付状を送付するだけではこのような結果は出ない。

これは、担当職員が使命感と責任感を持ち、完納に努めた結果だと考える。こうした真面目な職員の対応の下で、高齢化率が高い本村においても、だれ1人未納者がいない状況になっているのではないか。

村長 私も役場職員として40年間勤めていたので、職員の立場もよく心得ていると思う。今の職員、しっかりやっていると思う。今後もぜひとも村一丸となり、税は全ての源であるので、完納に向けて全庁挙げてその対応に努めたい。

問 未納なしの時点で、清算結了を行う場合、どれくらいの弁護士費用が発生するのか。

村長 弁護士に相談したところ、実際に裁判所へ破産手続の申立てを行った後でなければ、正確な費用を示すことは困難との回答を受けている。

想定し得る範囲では、村が破産手続を行う場合には、初期費用で最低でも200万円ほどの経費が必要となり、手続を進めるための費用、また、困難な事案の場合には、更に高額の費用が必要とのことである。

# 議会活動を報告します

## 令和7年度 町村議会議員研修会

◎研修期日 10月20日

◎研修場所

郡山市ビックパレットふくしま

◎参加議員 8名

◎研修内容

・地方議会・議員の役割と議会改革の必要性

講師 大正大学教授

江藤 俊昭氏

・今後の政局・政治展望

講師 政治ジャーナリスト

田崎 史郎氏



## 「草加ふささら祭り」 に出席しました。

11月1日に、姉妹都市である埼玉県草加市で開催された、「草加ふささら祭り」に、栗城徳雄議長、小林政一副議長、馬場栄三総務厚生文教常任委員長が出席し、草加市長、草加市議会議長をはじめ、草加市民の皆さんと交流を深めました。



(草加市長、草加せんべいマスコットパトリ君、草加さわやかさんと)

## ● 令和7年第4回定例会のお知らせ ●

12月5日(金)から9日(火)までの日程で予定されています。  
一般質問は8日(月)の予定です。お誘いあわせのうえ、ぜひ傍聴においでください。

## 編集後記

今年の冬は、記録的な大雪に見舞われ、パイプハウス等に大きな被害が発生した。通年の梅雨がなく6月から9月まで極めて小雨で異常な程の高温が続いた。

カスミ草、シイタケ、野菜等、品質に影響を強く受けたと伺う。稲作については、一部沢からの用水地区について苦慮したとも、

河川からの地区については、高温障害も少なく、平年収穫量よりも多く、また価格も最高値を記録した。異常とも言える気象環境に、人間も、野生動物も苦慮する。

(馬場栄三)

## 編集委員

委員長 渡部 節雄  
副委員長 馬場 栄三  
委員 小林 政一  
栗城 徳雄